スポーツ推進のイメージ　（基本理念の実現に向けて、取組の好循環を生み出す）

ふれあいスポーツの集い
（囲碁ボール）

スポーツを楽しむこどもを地域みんなではぐくもう!!

	主な施策の内容	該当する施策項目
関心を高める	・「遊び」の推進 ・「する」「みる」スポーツ機会の提供 ・いつでも、どこでも、だれもがスポーツできる環境づくり	1（1）こどものスポーツの推進 1（2）こどもがスポーツを好きになる機会の創出 1（3）学校の体育に関する活動の充実 2（1）高齢者、ファミリースポーツの推進 2（2）障がいのある人のスポーツへの機会の拡大
自分に合うスポーツを見つける	・年齢別、ライフスタイル別のスポーツ活動の推進 ・既存イベント等のあり方の見直し	

＊スポーツや運動をするきっかけづくりを行います
＊成人における週１回以上のスポーツ実施率が 65%となることをめざします

クォーターテニス交流大会

＜基本理念＞
はぐくむ・つながる・ささえあう　まちづくり
～Sport in Life 丹波をめざして～

スポーツを通じて自分らしく暮らし、ささえあう社会をつくろう!!

	主な施策の内容	該当する施策項目
ささえる人が育つ	・指導者、リーダーボランティアの育成 ・指導者資格取得補助事業支援 ・スポーツボランティアの養成 ・表彰制度の創設 ・民間活力によるスポーツ施設の運営	2（3）新しいスポーツの普及促進 3（1）スポーツをささえる人材の育成 3（3）スポーツツーリズム等の推進 4（3）スポーツ施設の活用促進
まちの活性化につなげる	・地域づくり、観光振興施策との連携（スポーツツーリズムの推進） ・市民が提案して実施する事業など、新しい取組の創出支援　（活躍市民によるまちづくり事業応援補助金の活用）	

＊スポーツリーダー・指導者・ボランティアの育成を支援します
＊スポーツイベントを通してまちの活性化を図ります

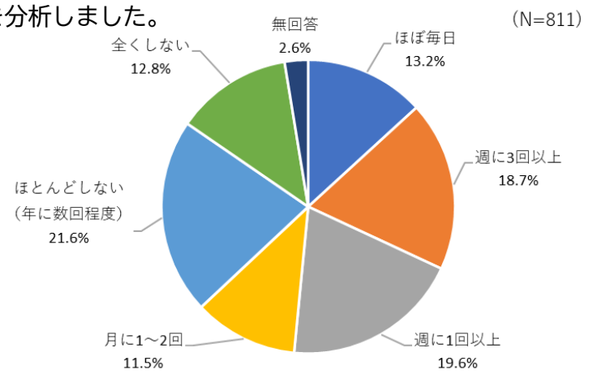
スポーツを通じて心身の健康づくりや人と人とのつながりを感じる社会の実現をめざそう!!

	主な施策の内容	該当する施策項目
地域スポーツを通じたまちづくり	・事業、団体の自主運営支援 ・地域施設自治会広場、学校開放の活用による地域スポーツの活性化 ・地域に根ざした活動を行う団体（体育振興会）との連携・支援	3（2）地域スポーツの推進 3（4）スポーツに関わる情報提供 4（1）競技スポーツの推進 4（2）次世代アスリートの育成
人・団体がつながる	・スポーツをする人、みる人・団体、施設等のネットワーク化 ・市民と民間団体への支援や指導・助言	

＊各種スポーツ団体・地域・学校などと連携をとり、新しい地域スポーツ社会を実現します
＊各種スポーツ関係団体の自立運営を支援します

市民のスポーツの実施状況と課題

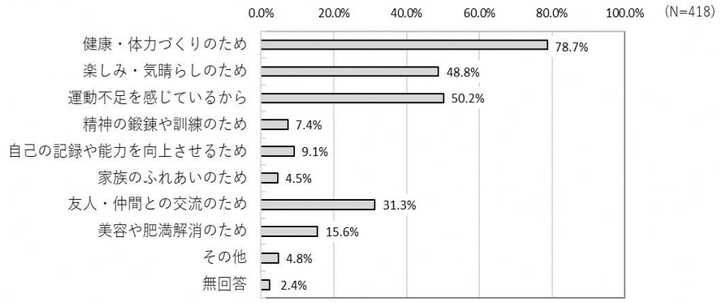
令和６（2024）年３月に「丹波市スポーツ推進計画アンケート調査」を実施しました。その結果から丹波市民のスポーツ・運動の実施状況や課題を分析しました。



（ア）半数以上の人が、スポーツ・運動を行っており、増加傾向にあります

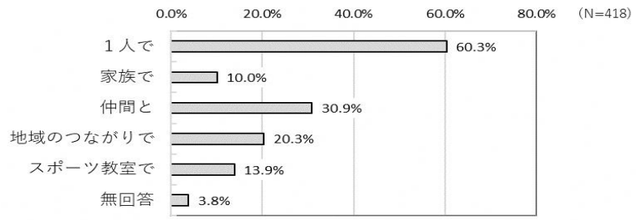
1 年間に「週 1 日以上のスポーツ・運動を行った人」の割合は、51.5%です。

年代別では、80 代が 62.4%、70 代が 59.4%、60 代は 52.5%と、60 代以上のスポーツ・運動実施率は５割以上となっていました。一方、30 代のみ 25.7%と３割を下回っています。



（イ）健康志向からスポーツ・運動を行っています

前回調査同様、スポーツ・運動を行う目的として、「健康・体力づくりのため」が 78.7%で最も多く、次に「運動不足を感じているから」が 50.2%と続いており、健康志向が高いことがうかがえます。また、「楽しみ・気晴らしのため」（48.8%）、「友人・仲間との交流のため」（31.3%）も多く挙げられています。



（ウ）１人でスポーツ・運動を行う割合が高くなっています

回答が多い順に「1 人で」（60.3%）、「仲間と」（30.9%）、「地域のつながりで」（20.3%）となっており、１人であってもスポーツ・運動を行っている人が多いことがわかります。

- 週 1 回以上スポーツ・運動を行う成人の割合は 51.5%であり、特に 30 代の実施率が低い値にあることから、いかに仕事や家事、育児をしながら、スポーツも楽しむことができる機会をつくるかが重要であるといえます。また、年齢・体力的なことからスポーツを「すること」に消極的な人たちが多く、だれでもできるスポーツを企画することも求められています。
- 「丹波市のスポーツの日」やスポーツイベントなど、スポーツの取組が十分伝わっていない状況にあるため、現状よりもっと多くの人たちに周知するとともに、興味を持ってもらえるような情報提供が大きな課題といえます。
- こどものスポーツ推進に関しては、発育・発達段階に応じた適切な指導とともに、幼児期から体を動かすことの楽しさを伝えることが必要です。また、部活動の地域移行の流れや少子化に伴う「する」スポーツの選択肢の縮小化等を念頭に置いて、指導者の育成や地域スポーツ環境の充実を図っていくことが望まれます。

計画の目的

本計画ではスポーツの推進、普及を目指しつつ、まちづくりを進めるうえでもスポーツが広く位置づけられ、大きな役割を果たすよう、その目的として次の５項目を掲げます。

◆スポーツを通じた健康維持と健康増進

本計画の遂行により、スポーツを通じて市民一人ひとりが日常生活を健康に送ることができるよう健康を維持し、健康増進を図ります。

◆スポーツを通じた共生社会の実現

障がいのあるなし、性別、年齢にかかわらず、「する」「みる」「ささえる」スポーツを楽しむ機会を提供し、だれもが健やかに暮らせるスポーツを通じた共生社会の実現を図ります。

◆次代を担う青少年の健全育成

青少年期において、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことにより、スポーツの楽しさや喜びを体感することができる環境を充実させることで、生涯においてスポーツを楽しむ素地をつくるとともに、まちの次代を担う青少年の健全育成を図ります。

◆地域コミュニティの活性化

だれもが参加しやすいスポーツ環境を創出し、性別や世代、居住地などを超えた出会いへとつなげていきます。それにより、希薄化したつながりを再構築し、活力ある地域コミュニティの形成を図ります。

◆持続可能なスポーツ環境の整備

まちづくりの主役である市民が全ての世代にわたっていきいきと躍動し、まちの発展を持続可能にする素地を築き、ウェルビーイングの実現のため、スポーツ施設の適切な維持管理を進め、スポーツを通じた健康づくり、楽しい生活環境づくりを進めます。

基本理念

いつでも、どこでも、だれもがスポーツを生活に取り込み、スポーツを通して成長し、一人でも多くの市民がスポーツに親しめる環境を整え、人と人とがつながり、ささえあう魅力あるまちをつくります。

はぐくむ・つながる・ささえあう　まちづくり

～Sport in Life 丹波をめざして～

基本目標

本計画では、スポーツに対する関心を高めて、スポーツを楽しむ機会や環境についての情報発信により、**「スポーツを楽しむこどもを地域みんなではぐくもう!!」「スポーツを通じて心身の健康づくりや人と人とのつながりを感じる社会の実現をめざそう!!」「スポーツを通じて自分らしく暮らし、ささえあう社会をつくろう!!」**の３つをスポーツ推進の目標とし、これらが互いに連動しながら好循環を生み出していくことを目指します。

スポーツと計画策定の意義

スポーツは、身体的・精神的に大きな影響を与える文化の一つで、人生をより豊かで充実させるものです。スポーツを行うことによって得られる爽快感、達成感、他者との連帯感などは、スポーツを行った瞬間だけでなく、広く日常生活においても精神的な充足をもたらします。スポーツに触れることは、喜びや楽しみなどの満足感をもたらし、明日への活力を生むなど心身の発育・発達や健康なライフスタイルを形成するうえで、必要不可欠な要素となっています。

国においては、社会の現状や国際的な環境変化等を踏まえ、スポーツ界における新たな課題に対応するため、平成 23（2011）年に「スポーツ振興法」（昭和 36 年法律第 141 号）が 50 年ぶりに全面改正され、新たに「スポーツ基本法」（平成 23 年法律第 78 号）が制定されました。スポーツ基本法では、スポーツを通じて豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとし、スポーツが、青少年の健全育成や、地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造、我が国の国際的地位の向上など、国民生活において多面にわたる役割を担うことを明らかにしています。

スポーツ基本法の理念である「スポーツを通じて『国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む』ことができる社会の実現」を目指し、東京五輪、パラリンピック開催が決まったことをきっかけとして、スポーツ行政の総合的な推進母体となるスポーツ庁が平成 27（2015）年に発足しました。

国は、スポーツ基本法に基づき、令和４（2022）年３月にスポーツ推進の具体的な方向性を示す「第３期スポーツ基本計画」を策定しました。また、兵庫県においては、令和４（2022）年に国の計画を参酌して「第２期兵庫県スポーツ推進計画」を策定しました。

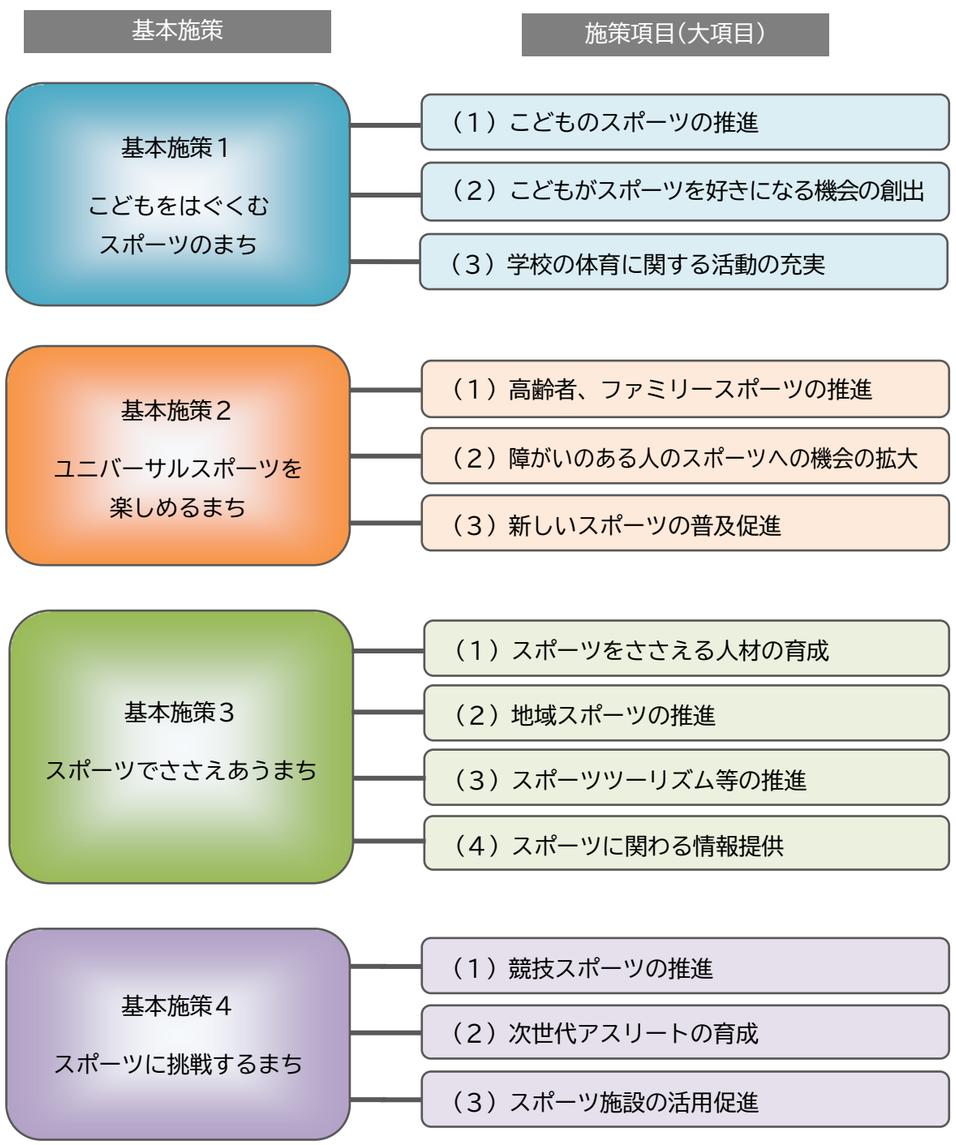
このような状況から、丹波市においても今回、スポーツを取り巻く様々な社会状況の変化等を踏まえながら、「第２次丹波市スポーツ推進計画」の策定を行うものです。そして、市民の競技スポーツから生涯スポーツ並びにユニバーサルスポーツに至るまで、市民の「する・みる・ささえる」スポーツへの関心を一層高めて、スポーツに親しむ機会の充実によりウェルビーイング*を実現し、新しい地域スポーツがはぐくまれるより良い社会の形成を目指します。

＊ウェルビーイング…身体的・精神的に健康な状態で、社会的・経済的に良好で満たされている状態。

計画の期間

令和７（2025）年度から令和 16（2034）年度までの 10 年間とし、スポーツを取り巻く社会情勢の変化や計画の進捗により、必要に応じて見直します。

スポーツ推進施策の体系



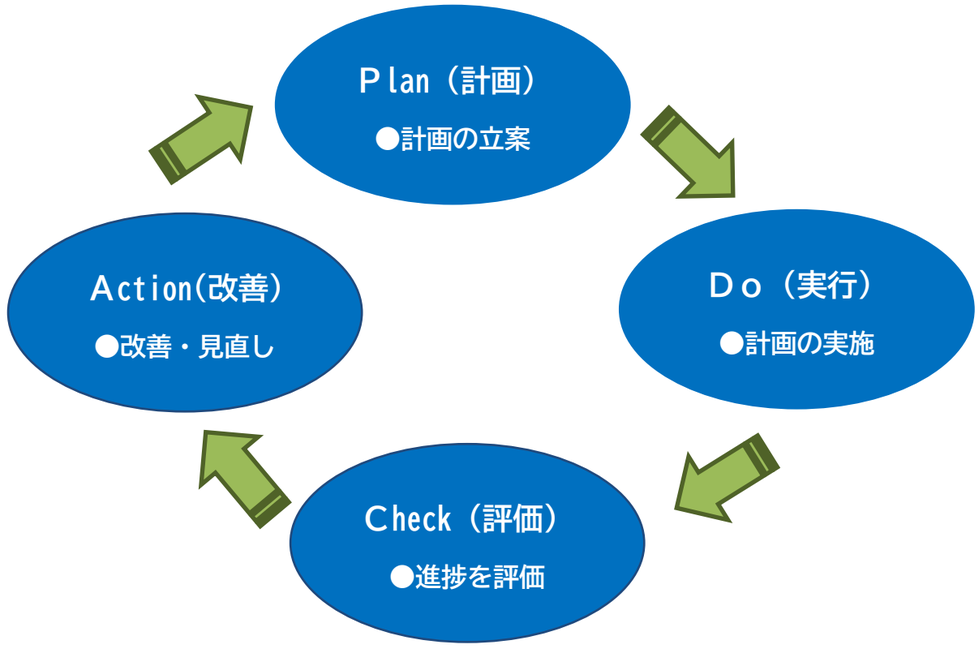
計画の推進方策

本計画を効果的かつ計画的に推進していくため、行政をはじめ、市民、地域やスポーツ関係団体、学校などが連携し、協働して実践していくことが必要です。

行政と各スポーツ関係団体が連携し、市民一人ひとりがライフステージやライフスタイルに応じて、スポーツを行うことができるよう地域スポーツ社会の形成を推進していきます。

計画は担当課を中心に、関係部署と情報共有などの連携を図りながら進捗管理を行うとともに、毎年度、丹波市スポーツ推進審議会において、取組の進捗状況などについての検証を行います。

また、社会情勢の変化やニーズの変化に伴う新しい課題に対応するため、本計画で掲げた各施策については、「ＰＤＣＡサイクル（計画・実行・評価・改善）に基づき、毎年、進捗・取組の実施状況について点検や評価を行い、取組内容の見直しや改善につなげながら、効果的な計画となるように努めていきます。



【お問い合わせ】
〒669-4192　兵庫県丹波市春日町黒井 496-2
丹波市　まちづくり部　文化・スポーツ課（tel.0795-88-5057　　fax.0795-74-2855）

第２次丹波市スポーツ推進計画

【概要版】

はぐくむ・つながる・ささえあう　まちづくり

～ Sport in Life

丹波をめざして ～

令和７（2025）年３月

丹波市